



平和学習（総合的な学習）

6月19日（火）に、総合的な学習の時間の中で、「平和学習」に全校で取り組みました。6月19日には、73年前の福岡大空襲を教材とした平和学習に市内の多くの小中学校が取り組んでいます。この福岡大空襲は、福岡市勢要覧などによると、1945年6月19日午後11時すぎから約2時間、221機の米軍B29が福岡市に焼夷弾を投下しました。被災戸数は1万2693戸。死者902人、負傷者1078人、行方不明者は244人に上りました。当時の奈良屋、大浜、冷泉、大名、箕子の5校区に被害が集中しました。

箱崎中学校では、この平和学習に向けて、5月末に生徒達による「平和学習委員会」を発足し、各学年の学習のねらいに沿って調べ学習を行い、発表の準備をしてきました。当日は、生徒達の発表とあわせて、各学年に講師の方をお招きして、戦争の体験談や調査活動をされて分かったことなどを話していただきました。1年生は福岡大空襲について吉安蓉子様に、2年生は原爆について「原爆被害者の会」の島野道次様に、3年生は沖縄戦について「戦争体験を語り継ぐ会」の中嶋将勝様に講師としてお越し頂きました。



講師の先生方からは、プレゼンテーションを使った生徒達の調べ学習の発表が素晴らしいとお褒めの言葉を頂きました。

学習後の生徒の感想

今回の学習でさらに戦争のひさんさや恐ろしさを知ることができました。沖縄戦は今までよくわからなかったので、講話を聞いて沖縄戦の流れを知れたり、軍人ではない他の人たちはどのような生活をしてきたのかを理解できました。戦争によってみんながしたくないことや望んでいることを実現できないことを聞いて今と全く違うことがよくわかりました。講師の先生の話にあった集団自決も自分がその立場にいたら絶対に自分の家族を殺せないのに殺すということは、本当につらいことだったと思いました。私は講話を聞いて、戦争は家族をばらばらにし、いろいろなことを悪くするものだということがわかりました。
(3年1組 加藤 美英)

戦争は怖いと改めて感じました。長崎や広島の話は何度か聞いたことがありました。でも沖縄の話はあまり聞いたことがなく、事前学習で習った言葉などもあり、内容を理解しながら聞くことができました。戦争は恐ろしく、人の心まで変えてしまうのだなと思いました。集団自決などでも多くの方が亡くなっているのもやはり戦争はもう二度とあってはいけないと思いました。今、自分たちに出来ることは昔にこういうことがあったんだよと次々に伝えていくことが今の自分たちに出来る一番のことだと思います。戦争は二度と起こってはいけないと思いました。
(3年2組 小椋 心)

今日の平和学習では、沖縄の戦争について学習しました。沖縄戦は、今までに学習したことがなかったけど、唯一の地上戦でたくさんの負傷者の方がいたことを知りました。特に「集団自決」というのが心に残りました。自決という文字が入っているから、自ら進んで亡くなったと思っていたけどそうではなく、半ば強引に殺されたも同然なことだということを初めて知りました。沖縄の方々が集団自決で亡くなっていった事は、すごく悲しいです。これからは、まわりの人に沖縄戦の悲しい事実を語り継いでいきたいです。
(3年3組 有馬 七海)

